

5月2日(土曜日)「ソロモン(4)神殿の建築」

【新改訳 2017】

Ⅰ 列王記 6・1－38

「あなたが建てているこの神殿については、もし、あなたがわたしのおきてに歩み、わたしの定めを行い、わたしのすべての命令を守り、これによって歩むなら、わたしが……約束したことを成就しよう。」(12節)

父ダビデが願いつつ準備した神殿の建築は、主の命により子ソロモンの手でなされました。エジプトを出てから480年目、ソロモン王が王になって4年目に着工。7年かかって11年目に完成しました。

イスラエル人はこの時から、移動できる幕屋中心の生活より、定着した神殿中心の生活へと変わり、ある意味で新しい時代に入りました。この工事は、当時としては比類のないすばらしいものだったでしょう。

しかし、主はこの工事に、冒頭のおことばを語られたのでした。大きい会堂、すばらしい会堂を建てらることは幸いです。しかし、それも、信者たちがみことばに忠実に生きてこそ祝福となるのだ、ということに注意されたのです。この意味は今日も同じです。このことを忘れないようにしましょう。

～祈り～

主よ。私たちの会堂建築の動機が正しいものでありますように。また、
みこころにかなった祝福の場としていただけますようにお導きくださ
い。

【学びのために】

Ⅰ 歴代誌22・1－19参照